ソラダス２０１６実行委員会ニュース　NO.2

2016年5月9日（月）

ソラダス２０１６本部実行委員会事務局

カプセルろ紙入れ作業完了！
地域・団体で事前準備始まる！
５月１９日（木）午後６時から
２０日（金）午後６時まで測定！
（雨天決行・暴風雨などの際は１週間延期・事前連絡します）



４月２９日、カプセルのろ紙入れ作業に３４地域・団体から９０名が参加され、予定の７２００個が参加者の大奮闘で一気に午前中で完了しました。民医連・検査部会の方々が事前に４０００個完了されてた分と合わせて、カプセルの準備はできました。

各地域・団体は、メッシュ・自主測定分の必要カプセルを持ち帰り（欠席のところには郵送）、メッシュ毎の担当者や記録紙づくりとカプセル通し番号付けなどの事前準備が始まっています。また健康アンケートが、団体構成員に配布されたり、カプセル協力者渡しの準備も始まっています。



インストラクターの指導で、真剣に！

いよいよ５月１９日（木）午後６時からの測定です。当日は雨天決行ですが、暴風雨など設置者に危険が及ぶような事態の際は、１週間遅らせて２６日（木）午後６時からに順延します。

まだいくつかの地域では、体制が整っていないところがあります。大阪全域で実施してこそ全体の評価ができます。急いで体制づくりと具体化をお願いします。実行委員会としてもご相談したいと思っています。

なんとしても、大阪全体の協力で「ソラダス2016」を成功させましょう。

6月5日（日）検出作業

◎大阪市内24区の皆さんは午前10時～、

◎それ以外（大阪市以外と自主測定団体）

の皆さんは午後１後～

測定したカプセルを

持ち寄って下さい。

６月５日カプセル検出作業：泉州保険医薬研究所のたかさご薬局２F

（地域・団体からカプセル・記録紙・カプセル代金・健康アンケートを！）

５月１９日～２０日の２４時間測定したカプセルは、記録紙へのチェックをして通し番号順に８０個ずつ仕分けし、冷暗所で管理してください。

６月５日（日）の検出作業日は、大阪母親大会など行事の重なりもありますが、各地域・団体からカプセル・記録紙・カプセル代金・健康アンケートを持ち寄ってください。作業要員には１～２名の参加をお願いします。

なお作業と会場の都合で、午前１０時～大阪市内　午後１時～大阪市外と自主測定のみの団体と２つに分けます。よろしくお願いします。（会場地図は次ページ参照）

記録用紙をわすれずに！

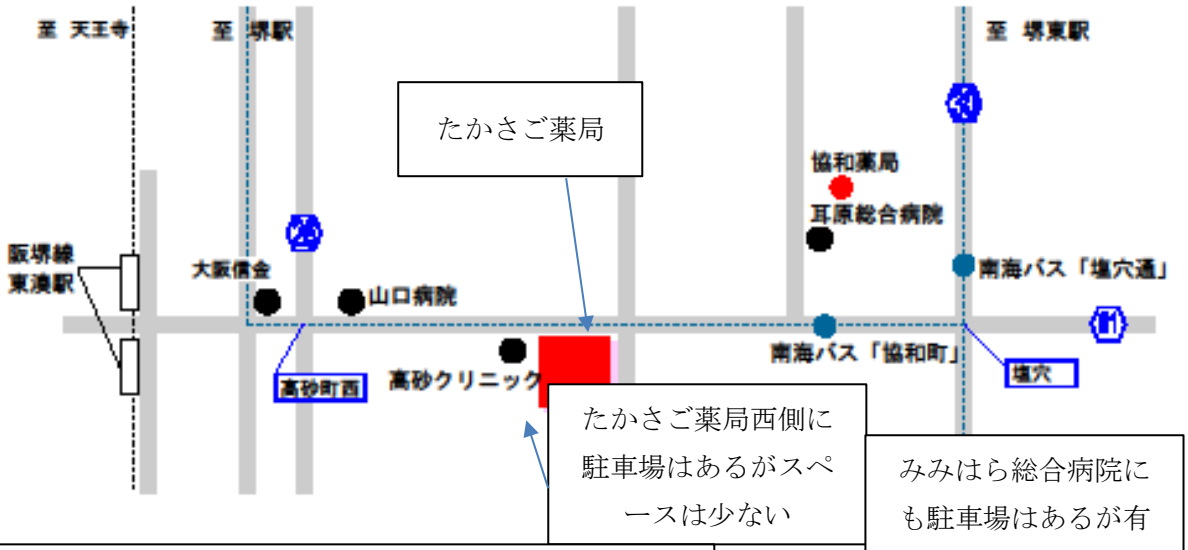
記録用紙の連番で80個ずつ保管・持参を！

６月５日までは冷暗所で保管を！

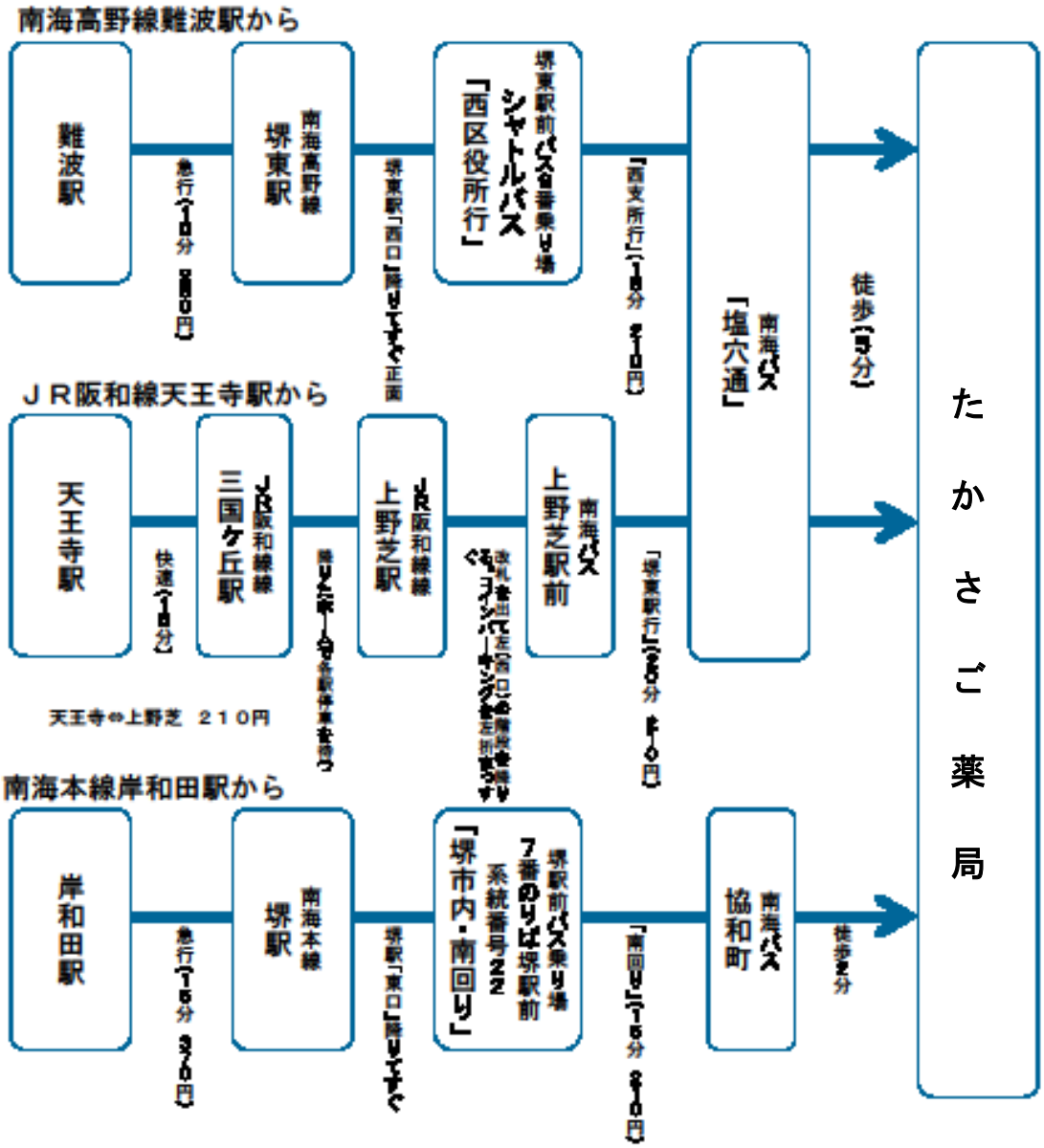
健康アンケートも持ってきて下さい。

よろしくお願いいたします

たかさご薬局への道路順



たかさご薬局への交通ルート



喘息患者にとって、
ソラダス・NO2カプセル測定は
命と健康の拠りどころ！

測定運動が「公害対策」の大きな力に！

福島公害患者と家族の会　和久利　正子

私たちは、環境省でも、国交省でも、大阪市でも、測定運動の結果を具体的に示して、この間ずっと交渉を積み重ねてきました。「私たちが測定した NO_2（二酸化窒素）の結果です。大正区の４３号線沿いはこんなひどいんです。大型車を規制して！測定局を増やして！」「福島区の測定では国道２号線や中津線など交通量の多い所は環境基準オーバーしてるけど、交通量の少ない淀川べりは、下限値よりも低い結果が出ています。ここに高速道路ができたらどうなるの」「交通量が多い所は大気汚染がひどい。何回測定してもそうした流れがはっきりと出てるんですよ」

１９７８年５月、第１回の測定運動に取り組んで今回で８回目、大正区も福島区もそれ以外に、年２回（６月と１２月）の測定を欠かさず２０年以上続けています。２倍から３倍に緩められた環境基準（０．０４～０．０６ｐｐｍゾーン内）の下で、５年で基準を達成すると言いながら３０数年かかって、国も自治体も低公害車の普及、排ガス規制など大気汚染対策に取り組むようになり徐々に改善されるようになりました。

私たちの要求は、１日も早く環境基準の下限値（０．０４）を達成させ、それ以下を目指すことです。３月３０日、西淀川公害裁判の和解条項に基づいて国交省・阪神高速道路㈱)との道路連絡会が開催され、席上国交省の板垣課長は「二酸化窒素については０．０４以下をめざす」とはじめて回答。ここまでの回答を勝ち取ったのは、公害被害者のねばりづよい運動と測定運動が大きな力になったと私たちは確信しています。

ぜん息患者は今も増えています。PM2.5（微小粒子状物質）を含め大阪の大気汚染の状況は決して安心できる状況ではありません。

住民の手で「空気の汚れを調べる」この運動こそ、これからも監視の役割を果たし、行政に対策を求め、空気をきれいにするための大きな力になっていくことと思います。